A　　　R1601

RS-232C無線通信ユニット

[2.4GHzスペクトラム拡散無線データ通信ユニット]

Setup．exe

操作マニュアル

Ver.1.00

アドー･ジャパン株式会社

履歴

2006年 5月22日　初版作成

発行者：アドー・ジャパン株式会社 東京都中央区日本橋小舟町８－６　　　　Printed in Japan

注意

■ 記載内容の一部または、全部を無断で複製、転写、転載、改変することは法律で禁じられています。
■ 添付のソフトウェアはバックアップ用以外のコピーを禁じます。
■ 記載内容、製品の仕様、意匠等について予告なしに変更する場合があります。
■ 本書は、改良および部品の製造中止等により変更される事があります。また、カスタム対応した製品には対応しないものです。

1 概要

Setup.exe はRS-232C 対応 2.4GHz スペクトラム拡散無線データ通信ユニットADDO R1601 (以降ADDO R1601) の内蔵メモリ (外部EEPROM) に記憶された通信設定を書き換えるためのソフトウェアです。

2 準備

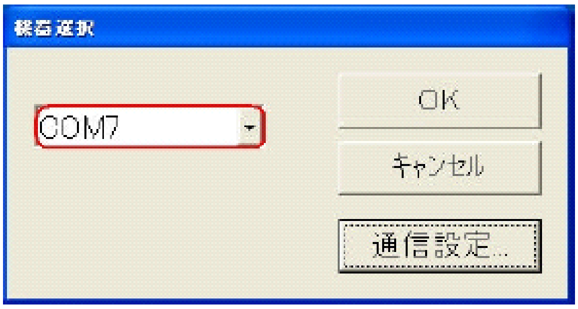
1) 未だPC とADDO R1601 の接続が行われていない場合は、先に『ADDO R1601 取扱説明書』また『ADDO R1601 簡易マニュアル』に従い、接続を行ってください。
2) 接続が行われましたら、添付のインストールディスク(CD-ROM)の「application」フォルダ内にある「Setup.exe」をハードディスク内の任意のフォルダにコピーしてお使いください。

3 操作手順

本ソフトウェア実行前にPC とADDO R1601 が接続されていることを確認してください。
本ソフトウェア実行中はPC とADDO R1601 間のケーブルを絶対に抜き差ししないでください。
PC とADDO R1601 間のケーブルを抜き差しする場合は必ず本ソフトウェアを終了させてから行ってください。

1) 「Setup.exe」を実行すると「機器選択」画面が出現しますので、使用できるCOM を指定します。

◆機器選択



2) 「通信設定」ボタンを選択すると「COMのプロパティ」画面が出現します。
ここでは
・初めて本ソフトウェアを実行した時
・RS-232C 接続時に前回シリアル設定を変更した時
のみ設定を行えば以降の操作が可能です。

◆COM のプロパティ



① ADDO R1601 に設定済の現在のボーレートを指定します。
② ADDO R1601 に設定済の現在のデータビット長を指定します。
③ ADDO R1601 に設定済の現在のパリティを指定します。
④ ADDO R1601 に設定済のストップビット"1"を指定します。
⑤ ADDO R1601 に設定済のフロー制御 "ハードウェア"を指定します。
⑥ COM のプロパティの設定を完了します。

ADDO R1601 通信設定初期値(RS-232C)

接続方法	RS232C	データビット長	8 bit
同期方式	歩調同期	ストップビット	1 bit
接続手順	無手順	パリティビット	なし
ボーレート	9600 bps	フロー制御	ハードウェア

3)　「機器選択」画面の「OK」ボタンを選択すると「SSC 設定」画面が出現します。

◆SSC 設定（この内容は出荷時設定状態です。尚、「宛先ID」の初期設定値は「1」となります。）



① バージョン	：ファームウェアのバージョンを表示します。
② 通信設定	：1 対 1 通信を指定します。 （親機、子機ともに同じに指定してください）
③ チャネル番号	：チャネル番号を指定します。
④ 自機ID	：自機のID を指定します。
⑤ 宛先ID	：宛先のID を指定します。
⑥ パケット長	：無線送信データの最大パケット長を指定します。
⑦ パケットタイマ	：無線送信パケット化のタイムアウト値を10ms 単位で指定します。
⑧ リトライ回数	：無線送信失敗時の再送回数を指定します。
⑨ 区切り文字	：区切り文字を指定します。

（「CR」または「LF」を指定してください）

⑩ 認識ID ：必ず0を指定してください。
⑪ 工場出荷時の値 ：工場出荷時の値にします。
⑫ ボーレート ：RS-232C 通信のボーレートを設定します。
⑬ データビット長 ：RS-232C 通信のデータビット長を指定します。
⑭ ストップビット ：ストップビットを指定します。
⑮ パリティ ：RS-232C 通信のパリティビットを指定します。
⑯ フロー制御 ：フロー制御の方法を指定します。
⑰ XON値 ：フロー制御に用いるXON値を指定します。
⑱ XOFF値 ：フロー制御に用いるXOFF値を指定します。
⑲ コマンドヘッダ ：通常モードでコマンドとして認識する文字列です。（変更は出来ません）
⑳ 受信IDヘッダ ：無線受信したパケットの宛先ID を表示する場合に、先頭に付ける文字列を指定します。（指定しない場合は宛先ID を表示しません）
㉑ メッセージヘッダ ：無線エラーや通常モードでのコマンドのレスポンスを表示する場合に先頭に付ける文字列を指定します。
（指定しない場合はエラー等のメッセージを表示しません。）

㉒ SSC 設定を完了します。

SSC 設定内容を変更直前の状態に戻したい時は「元に戻す」ボタンを選択してください。

A

アドー･ジャパン株式会社

本　社：〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町８－６
新江戸橋ビル４F
TEL：03-5652-1715　FAX：03-3660-5650

営業所：〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原４－４－６４
新大阪千代田ビル８F
TEL：06-6391-9303　FAX：06-6391-9304
URL：http://www.ADDO-Japan.com